

測定誤差が少なく、データの再現性を考えた

りっぷるくん

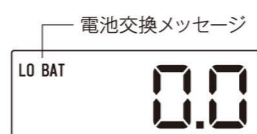
わかりやすい表示

■測定結果は、0.1~19.9N (ニュートン) で表示されます。
※表示が15Nを越えた場合は、測定を中止してください。



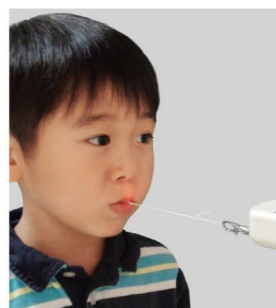
電源に乾電池を採用

■単四形アルカリ乾電池 (2本) を採用。また電池交換メッセージも表示されるため、交換時期を確認しやすくなっています。



LED点灯

■鼻下点にLED光を照射させることで、測定開始から終了まで力の方向を確認しながら測定が行えます。



りっぷるボタン

- 歯列状態にかかわらず、口唇による保持が容易な形状です。
- 口腔内に装着するため、衛生面からディスボーズにしました。
- リップボタンは口輪筋のトレーニングにもご使用できます。



(再使用禁止)

※りっぷるボタンを用いたトレーニングは、施設内で歯科医師もしくは歯科衛生士立ち会いのもとで行なってください。

包装



口唇閉鎖力測定器 りっぷるくん

一式

【内容】
本体(ストラップ付)…1
りっぷるボタン…50
※単四形アルカリ乾電池は付属しておりませんので、別途ご購入をお願いいたします。

【別売品】
りっぷるボタン (50個入)

仕様

本体材質	ABS樹脂
電源 / 電圧	単四形アルカリ乾電池2本/DC3V
照明光源	赤色LED (最大出力0.06mW、ピーク波長630nm)
測定対象	口輪筋
外形寸法	W60×D180×H26 (mm)
質量	本体128g (乾電池含まず)
使用温度範囲	温度0~40℃、湿度30~85%
保存温度範囲	温度-10~60℃、湿度10~85%

販売名・一般的名称

販売名	りっぷるくん
一般的名称	歯科用口唇筋力測定装置
承認・認証・届出番号	一般医療機器 医療機器届出番号 26B1X00004000257

関連製品

自宅でできる口輪筋トレーニング



※アソート包装ではありません。

口輪筋トレーニング器具 りっぷるとれーなー

●日本製
1箱

【内容】
(りっぷるとれーなー…1、取扱説明書…1)×10入
色調:4色
カラー:オレンジ、イエロー、ピンク、ブルー

トレーニング方法はコチラ▶



本カタログに記載の仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。

ご使用の際は添付文書等をよく読んでお使いください。

- 患者啓発用リーフレット、ポスターもご準備しています。ご入用の際は、歯科商店様にお申し出ください。



■A3サイズポスター(両面)



取扱い店



口唇閉鎖力測定器
りっぷるくん

日本小児歯科学会と松風の共同開発

りっぷるくん



新設 (令和2年度診療報酬改訂)

小児口唇閉鎖力検査 (1回につき) **100点**

小児口唇閉鎖力測定を行った場合は、3月に1回に限り算定する。
※算定要件、その他の詳しい内容等は厚生労働省または各都道府県の各歯科医師会等にお問い合わせください。

おくちポカ〜ン
口唇閉鎖不全症は予防する時代



口唇閉鎖力測定器「りっぷるくん」は、エビデンスデータに基づいた口唇閉鎖力検査が可能です。



世界の歯科医療に貢献する

株式会社 松風

●本社:〒605-0983京都市東山区福福上高松町11・TEL(075)561-1112(代)

●支社:東京(03)3832-4366 ●営業所:札幌(011)232-1114/仙台(022)713-9301/名古屋(052)709-7688/京都(075)757-6968/大阪(06)6330-4182/福岡(092)472-7595/2004BJSI

www.shofu.co.jp

SHOFU INC.



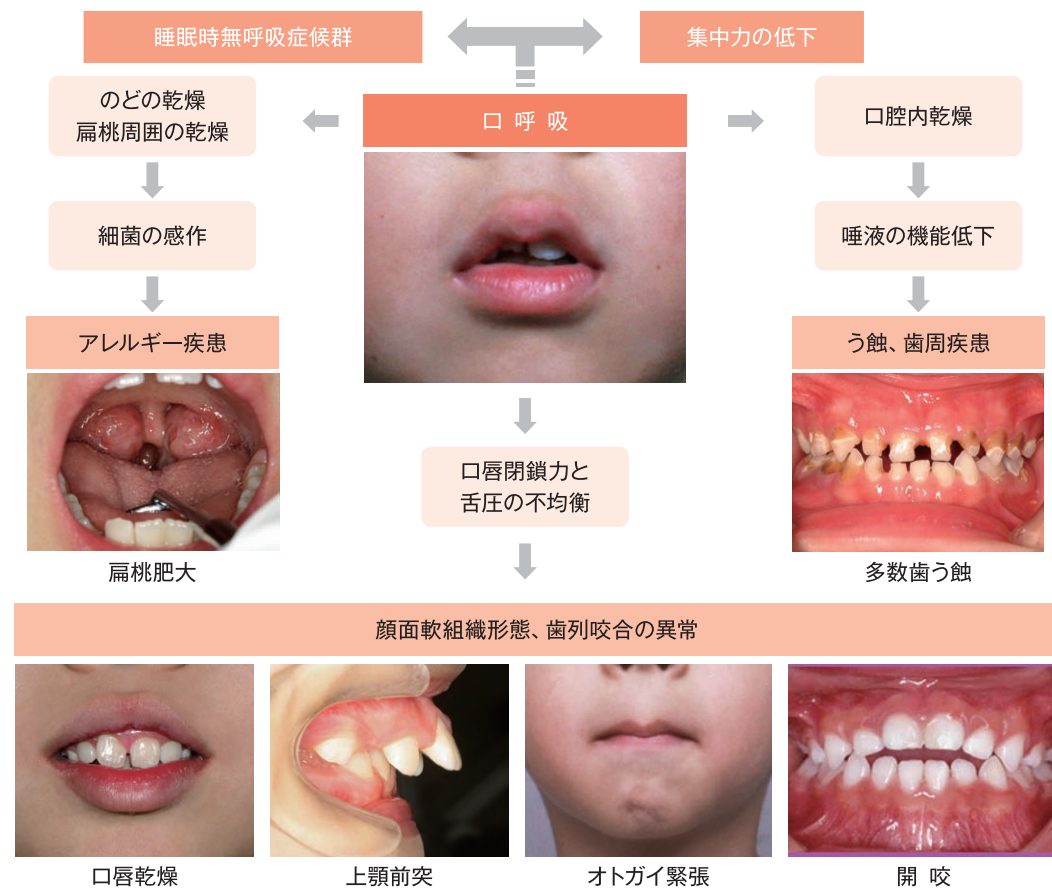
100年先にも輝く笑顔を
Bright smiles for another 100 years

口唇閉鎖力測定的重要性

「口唇閉鎖不全症」は安静時に口唇が開いている状態を指します。幼少期の食の問題は国民的課題であり、幼少期からの適切な食習慣の獲得が重要です。食行動に大きく影響する口唇閉鎖不全を検査し、早期に改善すれば小児の健全な発育と、将来のメタボリックシンドロームをはじめとする生活習慣病の予防に繋がります。

さらに口呼吸、鼻閉、気道閉塞、いびき、アレルギーなどの軽症化の可能性も指摘されており、幼少期からの口唇閉鎖に関する簡単かつ客観的な検査は不可欠です。

*：食育基本法（平成17年）、第2次食育推進基本計画（平成23年）



測定対象 3歳から、15歳までの小児

定期的に口唇閉鎖力測定を行うことで、小児の発達状態を確認し、口唇閉鎖不全症を防ぎましょう。



口唇閉鎖力測定時の大切な条件



りっふるくんは測定時の「引っ張る方向の不一致」と「測定開始位置」のバラつきを少なくした測定器です。

測定時の「引っ張る方向」による誤差をできるだけ少なく

「りっふるくん」は測定軸の上部に患者さんの鼻下点付近に光を照射するLEDを備えています。測定の際にLED光を患者さんに照射し、LED光が測定開始から測定終了までほぼ同じ位置に照射されることを確認しながら測定が行え、測定時の「引っ張る方向」による誤差をできるだけ少なくしました。（特許取得済）



毎回同じ位置で測定が可能な「りっふるボタン」

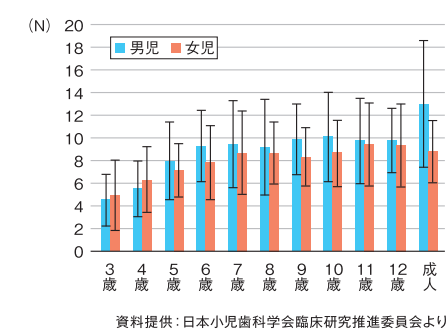
測定ボタンが同じ位置に装着され、毎回同じ条件で測定することが重要です。「りっふるボタン」は特殊な形状により、歯列状態にかかわらず口唇による保持が容易で、複数回の測定でも安定して同じ位置から測定が可能です。（特許取得済）



測定管理、トレーニング

「りっふるくん」で測定後、その結果について保護者や患者さんへ説明し、測定に使用したボタンによる口輪筋のトレーニング方法を指導することで、口唇閉鎖力を向上させることができます。繰り返しトレーニングをしてください。

各年齢における口唇閉鎖力 N=675

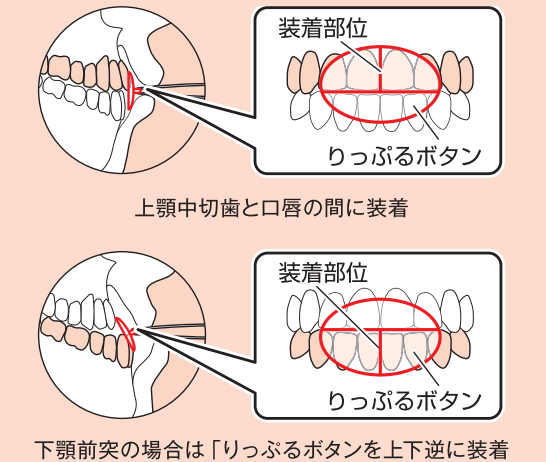
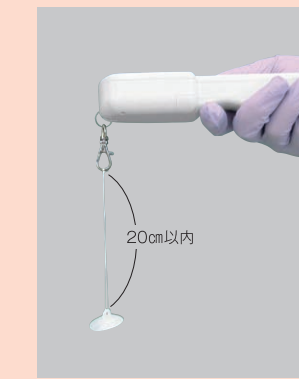


平均値

日本歯科医学会発行の「小児の口腔機能発達評価マニュアル」に平均値が掲載されています。「小児の口腔機能発達評価マニュアル」は日本歯科医学会ホームページよりご覧いただけます。

測定方法

- イスに座らせて背筋と頭部を真っ直ぐにのばし、正しい姿勢にします。
- 「りっふるボタン」にデンタルフロスを通して輪状に結び、「りっふるくん」に装着します。
- 「りっふるボタン」を口腔前庭に装着し、リセットボタンを押します。

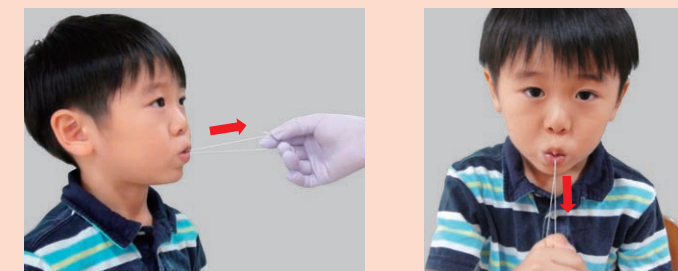


- LED光を確認しながら口腔外に「りっふるボタン」が引き出されるまで牽引して測定します。
- 複数回（3回程度）測定します。



口輪筋のトレーニング方法

口唇閉鎖力の弱い患者さんは「りっふるボタン」でトレーニングを行うことで、口輪筋が鍛えられます。



口腔内から引き出される寸前の力で、デンタルフロスを前方に引っ張ります。

※りっふるボタンを用いたトレーニングは、施設内で歯科医師もしくは歯科衛生士立ち会いのもとで行なってください。